

タケダ機械(6150) 取材メモ 内需関連で摩擦問題影響なくアウトパフォーム継続

19/5 期は建設投資増、部材調達正常化から 2 ケタ増益で連続最高益更新、来期も更新続く

株価 2330 円 (1/9) 時価総額 24 億円 (1/9) 発行済株 1020 千株 (1/9)

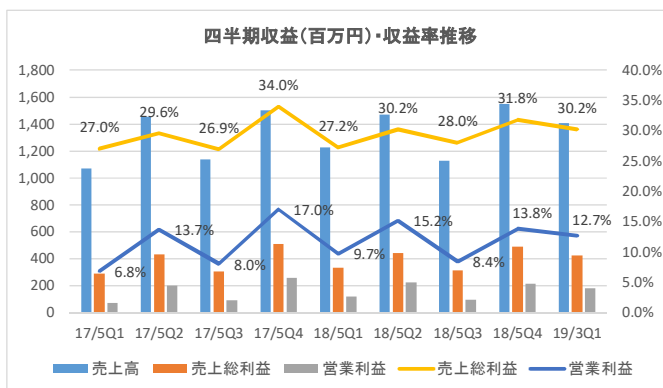
PER (DO19/5 予 : 3.4X) PBR (0.65X) 配当 (DO 予) 65 円 配当利回り : 2.8%

要約

- 19/5 上期は 3.6%増収、12.1%営業増益予想もフル生産状況続き 11 日発表で上方修正期待
- 19/5 期は 0.5%増収 5.8%経常増予想ながら、部材調達改善で会社予想を上回る収益期待
- 20/5 期も建設現場の自動化需要に加え、部材調達正常化で受注残消化済み最高益更新続く
- 株価は 19/5 期 DO 予想 EPS695 円に対し中小型工作機械平均 PER6 倍の 4170 円目標

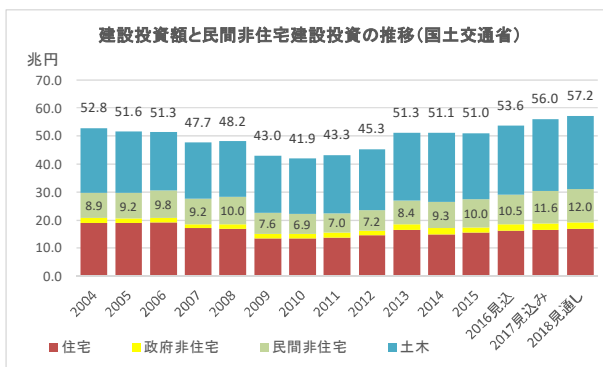
19/5 上期は 3.6%増収、12.1%営業増益予想もフル生産状況続 11 日発表で上方修正期待

19/5Q1 は 14.5%増収、50.5%営業増益ながら上期 3.6%増収、12.1%営業増益予想を変更しておらず、Q2 は 5.5%減収、8.2%営業減益予想となる。現状、ビル建設需要の好調、特に建設業界の人出不足の慢性化で省人化投資が活発で、同社型鋼加工機のフル生産が続いている。このため Q2 も好調が続いており、部材調達の遅れから受注残高消化が進まないものの(受注は未公表)、Q1 を若干上回る売上を確保し、1/11(金)発表予定の上期収益の上振れが期待される。



19/5 期は 0.5%増収 5.8%経常増予想ながら、部材調達改善で会社予想を上回る見通し

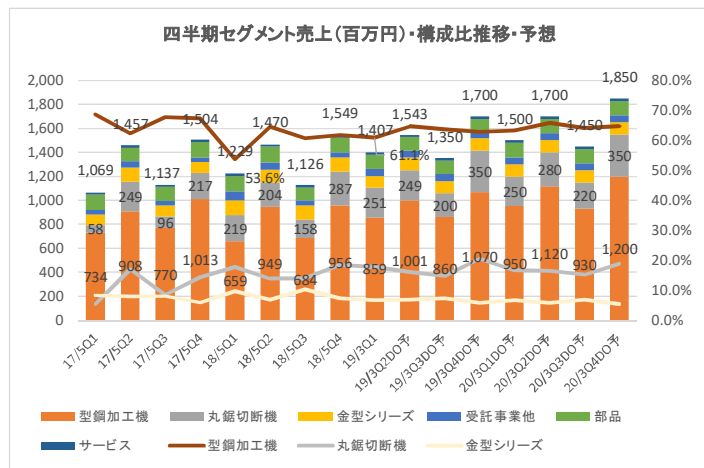
19/5 期会社予想は売上高 54 億円 (0.5%増)、営業利益 6.9 億円 (6.0%増)、経常利益 7 億円 (5.8%増)、税引利益 5 億円 (10.7%増) 予想を変更していない。このため下期は 2.6%減収、営業利益 0.7%減益予想となる。現状、オリンピック需要で首都圏での高層ビル建設が好調に推移し型鋼生産が堅調に推移、不安視された部材調達についても、直動軸受、ボールネジ等について高精度を要求されない箇



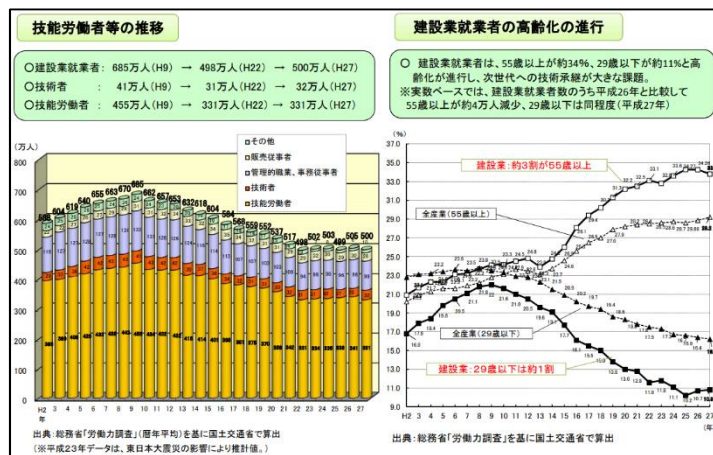
所を台湾 PMI 社製に置換、4Q には型鋼加工機の受注残消化が進む見通し。また自動車産業での自動化投資は世界的に衰えを見せず、丸鋸切断機も堅調な伸びが続く。このため下期も型鋼加工機の増額から会社予想を上回る収益が期待される。

20/5 期も建設現場の自動化需要に加え、部材調達正常化で受注残消化進み最高益更新続く

20/5 期はオリンピック需要で高層建築需要が堅調に推移、加えて建設業界の人出不足が慢性化、熟練労働者の高齢化も進む。また今回の災害対策による補正予算、新年度も公共投資増が見込まれ、型鋼加工機需要は堅調に推移しよう。このような中でボトルネックとなっている部材調達の正常化から形鋼加工機の収益拡大が見込まれる。また丸鋸切断機等も横這い基調を確保し、全体として形鋼加工機の売上増で最高益更新が続こう。



このような環境下、建設や農業等 5 業種を対象に 2019 年 4 月に新たな在留資格を設け、単純労働に門戸を開く出入国管理法 (入管法) 改正が決まった。このため外国人労働者増も睨み、型鋼加工の自動化、省人化投資のニーズが更に高まるとみられ、正式な業界統計はないものの年間 200 億円と推定される型



鋼加工機の更新需要が見込まれ、受注も高水準を維持しよう。またカジノ法案成立で総合リゾート建設によるポストオリンピックの建設需要確保、さらに大阪万博の決定、その後はリニア新幹線工事などもあり、継続的な大型建築物需要から、周辺装置を含め形鋼加工機は中期的にも堅調な受注環境が見込まれる。同業界は成熟産業との見方から新規参入がなく、大東精機 (17/3 期全売上高 82 億円、トップシェア)、同社、アマダ (アマダは板金中心で注力分野とはしていない) の 3 社寡占となっており、収益性も安定している。なお長期的には建設需要の低減を想定、型鋼加工機について東南アジア向けに自社ルートでの輸出拡大に着手、来年度に東南アジア仕様の自動化機械の投入を計画している。潜在需要は大きく、来期以降の拡大が期待される。

年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期会 予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
売上高	4,872	5,167	5,374	5,400	6,000	6,500
売上原価	3,403	3,631	3,788	3,790	4,110	4,410
売上総利益	1,469	1,537	1,587	1,610	1,890	2,090
販管費	889	918	936	920	1,050	1,100
営業利益	580	619	651	690	840	990
経常利益	582	624	662	700	840	990
親株主帰属純利益	394	436	452	500	640	710

セグメント売上情報年度	16/5Q4	17/5Q4	18/5Q4	19/5期会 予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
型鋼加工機	3,175	3,425	3,248	3,336	3,790	4,200
丸鋸切断機	635	620	868	967	1,050	1,100
金型シリーズ	368	388	452	423	400	400
受託事業他	169	162	220	212	230	240
部品	449	492	497	384	450	480
サービス	72	81	86	78	80	80
合計	4,872	5,167	5,374	5,400	6,000	6,500

年度	16/5期	17/5期	18/5期	19/5期会 予	19/5期 DO予	20/5期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	69.8%	70.3%	70.5%	70.2%	68.5%	67.8%
売上総利益	30.2%	29.7%	29.5%	29.8%	31.5%	32.2%
販管費	18.3%	17.8%	17.4%	17.0%	17.5%	16.9%
営業利益	11.9%	12.0%	12.1%	12.8%	14.0%	15.2%
経常利益	12.0%	12.1%	12.3%	13.0%	14.0%	15.2%
親株主帰属純利益	8.1%	8.4%	8.4%	9.3%	10.7%	10.9%

